

(様式第1号)

平成30年11月22日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 様

班長 伊藤 和子

記録員 遠藤 敬知

班員 結城 義巳

〃 水戸 芳美

〃 熊澤 光吏



議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	平成30年11月14日(水) 19時00分～20時40分	
2 会 場	市立蔵増公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	14名(男性)	
5 報告内容	議会活動状況説明、6月から9月までの定例会・臨時会で議決した内容、賛否の分かれた議案とその理由など	
6 意見・要望等	市 民	議 員
	<p>1 榊賀公園地内に整備予定していた調整池が不調となった。今後の整備計画にも影響するものであり、下流地区にとって大きな問題でもある。</p> <p>順次整備するであろう調整池整備計画に影響しないように取り組んでほしい。</p>	<p>常任委員会に説明されたが、榊賀公園が所在する北目地区に事前に説明し理解を得ていたが、隣接する一日町側への説明が遅れ、結果的に説明不足となった。</p> <p>最近新築した家屋が公園南側に4軒あり、補償を盾に強く反対されたもの。</p> <p>バイパス東部等に別の案を考えている。</p> <p>今後の整備計画への影響がないように考えることは、当然であり、更に最も効果のある場所への調整池整備という考えから、榊賀公園内への</p>

	<p>工法を変えた整備は、現在も一つの案として残っている。具体的には、これまで公園半分を利用し 5m位掘る案だったが、公園全体を利用し掘る深さを半分くらいにする周辺に配慮した案であり、しっかり下流地域への対応をしていく。</p>
<p>2 防災無線のことだが、去年酒田市八幡町で、避難勧告を出したが避難者0であった。大雨が降ったのに洪水ではなく、土砂災害で、山がないということで、誰も避難しなかったとのことだが、どう考えるか。</p> <p>蔵増小学校に防災無線の拡声器が設置されるとのことだが、500mしか届かないという。聞こえない地域も出るが役に立つのか。</p>	<p>自主防災会連絡協議会単位で28年度から整備している。一部負担があり、設置しない自主防災会もあったが、29年度から全額市負担で整備している。常時スイッチを入れていないので、発災時の問題もある。</p> <p>今後、防災ラジオや拡声器を配備予定であるが、活用のあり方や効果も課題である。</p>
<p>3 議会の一般質問等の録画中継をすぐ見られるようにできないのか。</p>	<p>議会事務局に聞いてみる。</p> <p>(調査結果)</p> <p>議会中継を視聴いただきありがとうございます。</p> <p>議会中継の録画配信は、録画した動画データを編集し、インターネット上で視聴できる形式に動画を変換してから、ホームページ上にアップロードしています。ホームページに動画へのリンクを作成するなどの修正作業も含めて、7日ほどの日数が必要です。</p> <p>できるだけ早く視聴できるよう、作業の効率化を図っていきます。</p>

<p>4 議員の方々は、水害の現場（最上小国川など）を視察したことはあるか。是非、現場を見て、人々の話を聞いて勉強してほしい。</p> <p>整備したポンプが動かない。2回も続けて起きた。とんでもない問題だ。</p>	<p>助言ありがとう。人災ではないかとも聞いている。機能しないのは、整備されていないと同じことだ。</p>
<p>5 ラ・フランスセンターの通りが、イオンができてから交通量が増えた。</p> <p>また、スポーツセンターからの交通量も多く、三中の通学路にもなっており、T字路に信号機を設置してほしい。</p>	<p>要望として伝える。</p> <p>(調査結果)</p> <p>信号機設置は、26年まで本市の重要事業として、県警察本部に要望していた。しかしながら、南側に3mの農道がある変形交差点のため、信号機設置基準により、現在の交差点形状では信号機設置はできないと県警察本部から報告受けている。</p> <p>なお、三中生の通学路対策はT字路交差点東300mの交差点に押しボタン式信号を設置し、安全確保を図っている。</p>
<p>6 「ゆびあ」の営業時間の開館を30分早めて、閉館も30分遅くしてほしい。</p>	<p>同じような意見を伺っているので、「ゆびあ」に要望として伝える。</p> <p>(調査結果)</p> <p>ご利用感謝します。</p> <p>現在、営業時間は午前6時30分から午後9時までで、快適に利用いただくため、清掃作業や設備の点検等、適切な維持管理を考慮して時間設定している。ご理解いただきたい。</p>

7 所 感	下流地区にとって、調整池の整備は必要不可欠である。 防災無線、防災ラジオ、拡声器を含め、その効果と活用方法を地域ごとに、しっかりと説明すべきだ。
-------	---